

教育あきた 3月号

2021 No.752

ウインタースポーツ奨励事業 スキー教室普及モデル校への支援

たざわ湖スキー場で能代市立ニツ井小学校の
6年生がスキー宿泊体験学習を行いました。



「プルークボーゲンで
下まで行くよ!」



校長先生の指導にも熱が
入ります



スキーの基本をしっかりと学びました



田沢湖が見える美しいゲレンデで
存分にスキーを楽しみました



スノーボードで颯爽と!

事業紹介 小・中学生向け学習支援ポータルサイト

わか杉学びネットについて…………… P 4

TOPICS 学校の先生の働き方が変わります!

～「2021教職員が実感できる多忙化防止計画」を策定しました… P10

学校紹介 県立視覚支援学校 視覚障害への理解を深めるために

「点字ブロックは安全・安心の道しるべ」～点字ブロック啓発の取組～… P13

少年自然の家の事業について ～ 地域における体験活動の拠点として～

本県には、多様な体験活動の拠点としての機能を有した、3つの県立少年自然の家があります。平成26年に設置条例が改正され、「自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する」ことを目的とした施設となり、地域の子どもから大人まで、多くの県民に利用が広がっています。

最近では、ネット依存傾向や不登校傾向にある児童生徒の増加等、いわゆる現代的な教育課題の克服に資する事業も行っています。参加者の特性やニーズに合わせ、有意義な体験活動の機会を提供できるよう、職員が様々な工夫を凝らし、日々の指導に当たっています。



◎大館少年自然の家・保呂羽山少年自然の家での事業 「自己肯定感向上プロジェクト推進事業」

ふれあいキャンプ（令和元年度～）

不登校傾向にある児童生徒を対象に、参加者の自己選択と自己決定を基盤としながら、自己肯定感の向上に資する宿泊体験プログラムを実施しています。各教育事務所の指導主事やスクールソーシャルワーカー（SSW）・市町村の適応指導教室職員等と連携し、無理なく体験活動ができる環境を整えています。大学生メンターによるピアカウンセリングも取り入れています。



火おこし体験の様子

◎岩城少年自然の家での事業「青少年教育施設を活用したネット依存対策事業」

うまホキャンプ（平成28年度～）

ネット依存傾向にある児童生徒を対象に、一定期間ネット機器から離れ、望ましい利用の仕方等について向き合うための宿泊体験プログラムを実施しています。「うまホ」とは、県教育委員会が進める「大人が支える！インターネットセーフティの推進」の取組で作成したPRキャラクターのことで、「うまくスマホを使おう」という意味が込められています。本キャンプでは、県医師会・県臨床心理士会・県養護教諭研究会等の諸団体と連携・協働しながら、体験活動の他、認知行動療法・カウンセリング・家族会等もプログラムに取り入れています。



創作太鼓体験の様子

○ 大館少年自然の家



大館少年自然の家
宮野 英法
主任社会教育主事
(キャンピングネーム：
のっぽ)

人気事業として、「鳳凰山登山」「ワンダースクール」「わんデーキャンプ」「アウトドアスクール」等があります。参加者の皆さんには、大自然の四季の変化や、アウトドア体験を楽しんでいただいています。そして、活動を終えた時には、自分の力でやり通した充実感や達成感をお土産にして帰ることができます。

四季折々の事業を、ホームページやフェイスブックで紹介していますので御覧ください。お子さん、大人の方、それぞれに楽しんでもらえる活動内容を準備して、皆さんの参加をお待ちしております。



野外炊飯の様子

○ 保呂羽山少年自然の家



保呂羽山少年自然の家
北畠 良晴
主任社会教育主事
(キャンピングネーム：
ばっけDX)

保呂羽山少年自然の家では、小学1～4年生を対象にした「アウトドア・チャレンジ」というデイキャンプを開催しています。「遊ぶ・食べる・作る」という3つのテーマで様々な活動を行いますが、キャンプのメインイベントは「沢遊び」です。暑い夏に大自然の中で思いっきり水と戯れる体験は、保呂羽山ならではの体験です。

また、9月中旬まで体験できる「カヌー」も非常に人気の高いメニューです。

当施設の活動には、アウトドア初心者の方でも安心して御参加いただけます。スタッフと一緒に、自然遊びを満喫しましょう。



沢遊びの様子

○ 岩城少年自然の家



岩城少年自然の家
鈴木 智王
主任社会教育主事
(キャンピングネーム：
トモロー)

幼児から中学生向けの「子どもわんぱく事業」、家族向けの「親子ふれあい事業」、主に成人向けの「生涯学習支援事業」の3つの主催事業を柱に、中央管内の自然を生かし、多様な体験活動を実施しています。いずれの事業も早期に定員に達し、好評を得ています。

当施設は交通の便もよく、食堂は日本海の雄大さを望むオーシャンビューとなっております。令和3年度は、毎月第3日曜日に施設を開放し、県民誰もが気軽に利用できる「施設開放事業（オープンデー）」を予定しています。是非御利用ください。



子どもわんぱく事業の様子

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は、学校等の受入や企画していた事業の一時中止等、少年自然の家としても苦渋の決断が続きました。来年度は、安心して体験活動に取り組んでいただける環境をこれまで以上に整え、皆さんの利用を心からお待ちしています。

小・中学生向け学習支援ポータルサイト わか杉学びネットについて

教育のICT化を推進し児童生徒の学びをより充実させていくため、小・中学生向け学習支援ポータルサイト“わか杉学びネット”を制作しました。主な機能を紹介します。



トップページにある「小・中学生はこちら」をクリックすると、次のようなコンテンツを利用できます。

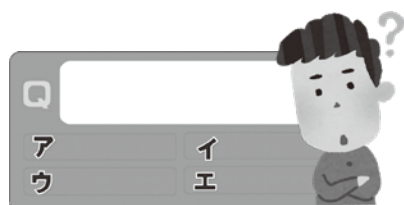
(1) 勉強をする

小学校1年生から中学校3年生までの学習教材を閲覧・ダウンロードできます。自分の学年、教科の順でクリックすると、問題シートや学習動画、関連する学習サイトなどが表示されます。

問題シートや学習動画は、順次、公開していきます。

(2) 学習クイズにチャレンジ!

4択式の学習クイズです。
毎日、違った問題に挑戦できます。



(3) 地域を知る

市町村の観光地や遺跡の紹介、英語による観光案内などの資料を見ることができます。

Akita dogs are
so cute !

They are popular
in the world.



大湯環状列石
野中堂の日時計状組石

トップページの「小・中学生の学びを応援するリンク集」をクリックすると、小・中学生の興味関心を高め、多様な学びにつながるサイトにジャンプできるようになっています。

サイト例

- ・ 敬語おもしろ相談室 (文化庁)
- ・ 宇宙教育教材 (JAXA)
- ・ 科学の甲子園ジュニア (JST)
- ・ 理研の博士に聞いてみよう (理化学研究所)

等



トップページの「新着情報」「義務教育課から」「各市町村教育委員会から」をクリックすると、小・中学生に伝えたい各種のお知らせや公募に関する情報が掲載されています。

※このほか、学校の先生向けに、ICTを活用した教育に関する情報を集約し発信するコンテンツや、ICT活用指導力の向上・授業力向上を目的とした研修材料を集めたコンテンツなどがあります。

“わか杉学びネット”は、今後、各方面からの御協力も得ながら内容を充実させていきたいと考えています。

多くの子どもたちがわか杉学びネットを訪れて、ポータルサイトの名前にある「わか杉」のように、未知への好奇心や学習への意欲をぐんぐん伸ばしてくれることを願っています。

“わか杉学びネット”には下のURLか、右のQRコードからお入りください。

(URL) <https://common3.pref.akita.lg.jp/manabi/>



県立図書館の学校図書館支援 ～セット資料の紹介～

県立図書館では、平成19年度から高等学校や特別支援学校の学校図書館に対して、本のセット貸出しや学校図書館訪問等、様々な支援を行っています。また、小・中学校の学校図書館に対しては、市町村を経由して本の貸出しや研修会を実施しており、県全体の学校図書館の活性化を支援しています。今回は、こうした取組の中からセット資料の貸出しについて御紹介します。

1 県立図書館のセット資料について

セット資料とは、高等学校や特別支援学校に向けたテーマ別の本のセットです。テーマ毎に、約40冊の本をコンテナに入れて貸し出しています。学校図書館ですぐに展示ができるよう、テーマ名を記した看板も入っています。また、授業や学校祭等でも活用されています。今年度は、約14,000冊の申込みがあり、毎月、貸出しを行っています。毎年セットを拡充しており、現在、73テーマ415セットの中から選べるようになっています。



伝記・自伝のセット「こんな生き方をしたい」

2 資料の選定

セット資料を作る上で最も難しいのが、テーマの設定と、どのような本をセットに入れるかを決める選書（せんしょ）作業です。高等学校・特別支援学校から寄せられたセット資料についての要望等を元に、新しく作るセットのテーマや内容を決定しています。選書に当たっては、各出版社のカタログやWebサイト等の情報等を参考にしながら、バランスのとれたセットとなるよう留意しています。



セット資料はコンテナに入れられ、県立図書館の書庫で保管されています。

3 資料の受入れと装備

図書館に納品された本は、そのままの状態では貸し出すことができません。県立図書館の所蔵資料とするため、その本に関するデータをコンピュータに登録する受入作業、本に背ラベル等を貼る装備と呼ばれる作業が必要です。また、コンテナに同封するセットのリストや看板等の準備もします。



リストを確認しながら、1冊ずつ装備を進めています。

4 資料の発送、学校での活用

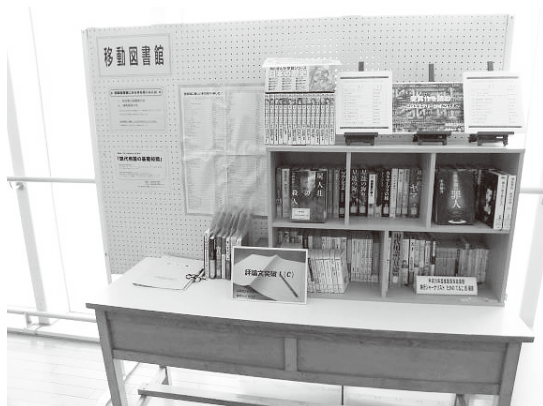
高等学校・特別支援学校からセット利用の予約が入り次第、随時発送の準備を進めていきます。各学校に発送されたセットは、学校図書館や校内の読書コーナーで展示、貸出しが行われています。



コンテナの発送準備は体力が必要な作業です。



学校図書館でのセット資料の展示例
(県立図書館コーナー)



校内の読書コーナーでの展示例

県立図書館マスコットキャラクター



けやきちゃん



ケントくん

これからの学校図書館支援

県立図書館は、高等学校・特別支援学校の学校図書館を直接支援だけでなく、県内の市町村立図書館・公民館図書室が近隣の学校図書館を支援できるように、本の貸出しや研修会の開催等、様々な取組を行っています。現在、市町村立図書館・公民館図書室と学校図書館が連携して児童・生徒の読書推進に取り組む事例が多く見られます。今後も市町村と県立図書館が協力しながら、学校図書館の活性化を図っていくことが大切であると考えます。

秋田県では平成22年4月に「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」が施行されました。また、令和3年3月には「第3次秋田県読書活動推進基本計画」が策定されました。この計画に基づき「家庭」「学校」「地域・職場」という県民の生活の場に応じて、様々な読書活動の推進が図られていきます。県立図書館は、これからも学校や市町村と連携しながら学校図書館の活性化を支援していきます。

お問合せ

秋田県立図書館 TEL 018-866-8400 FAX 018-866-6200

第七次秋田県高等学校総合整備計画〔後期計画〕の概要 (令和3年度～令和7年度)

県教育委員会では、平成28年度から令和7年度までの本県高校教育の方向性を示した「第七次秋田県高等学校総合整備計画」を策定し、これまで、社会に求められる資質・能力の育成に向けた授業改善を進めるとともに、キャリア教育の視点を重視し、地域の教育力を活用しながら特色ある教育活動を展開するなどして、計画の推進に努めてまいりました。

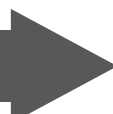
このたび、時代の変化などに対応して見直しを図り、「後期計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しましたので、その概要を紹介します。

第七次計画の後半5年間の計画

- ・新学習指導要領
- ・人口減少・少子高齢化
- ・学校規模縮小
- ・地域に根ざした学校づくり



後 期 計 画



H28年度

R3年度

R7年度

第七次秋田県高等学校総合整備計画



平成28年度にスタートした「第七次秋田県高等学校総合整備計画」では、「社会を生き抜く力と高い志を育てる教育の推進」と「活力に満ちた魅力ある学校づくりの推進」の二つを基本理念の大きな柱に掲げました。後期計画においても、これらを引き続き大きな柱に位置付けています。

予測困難な時代

- ・経済や社会のグローバル化の急速な進展
- ・A IやI C T等の科学技術の日進月歩の発展
- ・新型コロナウイルス感染拡大等の新たな課題 等



後 期 計 画

- 身の回りや社会における課題の発見・解決の取組を通して、主体的に課題に取り組む資質・能力を育成します。
- 地域をフィールドとした探究的な学習の充実を図ります。
- I C T等の科学技術を積極的に活用した学習を展開します。
- 各校の一層の活性化を図りながら、統合等再編整備も引き続き進めます。



学習指導要領の改訂

- ・地域に開かれた教育課程
- ・カリキュラム・マネジメント
- ・主体的・対話的で深い学び 等



本県の抱える課題

- ・少子高齢化、人口減少
- ・地域を支える産業の振興
- ・医療・福祉の充実 等

社会を生き抜く力と高い志を育てる教育の推進

生徒の社会的・職業的自立を目指し、社会に貢献する意識を高める取組の推進

確かな学力を育成し、生徒一人一人の能力・個性を伸ばす取組の推進

社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進

教員の資質能力の向上を図る研修の推進

グローバルな視野に立って考え、行動できる人間を育成する取組の推進

国際教育と国際交流活動の推進

グローバル化に対応した外国語教育の推進

地域と学校が共に地域の将来を考え、連携・協働して取り組む教育活動の推進

地域の将来を担う人材を育成する教育の推進

地域の様々な教育資源の積極的な活用

探究活動に取り組む生徒
(新屋高校)



活力に満ちた魅力ある学校づくりの推進

全日制課程における学校規模の適正化と望ましい配置の実現

学級減計画
(1学年の学級数)

学校の統合等再編整備の推進

各地区の統合等再編整備構想案

定時制課程・通信制課程の改善・充実

多様な学習ニーズに応える定時制課程・通信制課程の充実

生徒一人一人の学びを支援し、自立を目指す教育活動の推進

中高一貫教育の充実

6年間の計画的・継続的な教育活動の推進

中高一貫教育校の特徴を生かした魅力ある学校づくりの推進

社会の変化に柔軟に対応し、生徒の多様な能力を伸ばすための学科の改善・充実

普通科の改善と充実

職業に関する専門学科の改善と充実

その他の専門学科（理数、国際）の改善と充実

総合学科の改善と充実

実践的な技術・技能を高めるための専門学科における実習設備の改善及び充実、機器の更新及び新規導入と効果的な活用

県内初の地域校
湯沢翔北高校雄勝校



本校との交流活動



《少子化に負けない秋田の実現のために》

高校生がそれぞれの目標に向かって学習活動等に打ち込むことのできる充実した教育環境を整えるため、今後も統合等再編整備を進めてまいります。

《将来を担う若者を育てるために》

学校・家庭・地域社会と連携しながら、世界へはばたく気概とふるさと秋田を支えようとする高い志をもった若者の育成を図ってまいります。皆様の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」の教育庁高校教育課のページに計画を掲載しています。
(<http://www.pref.akita.lg.jp/kokokyo/>)

高校教育課 高校改革推進班 (TEL 018-860-5163)

学校の先生の働き方が変わります!

～「2021教職員が実感できる多忙化防止計画」を策定しました～

近年、学校現場では、いじめや不登校への対応、新しい学習内容（小学校での英語教育やプログラミング教育）の実施など、先生の抱える課題は年々増えており、定められた勤務時間を超えて仕事をしている実態があります。

また、新型コロナウイルス感染症に伴う、子どもたちへの学習保障や感染防止対策への対応などにより、その忙しさはさらに増えています。

県教育委員会では、学校の先生が日々の生活にゆとりをもち、自らの人間性や創造性を高めることが、学校での魅力ある授業の実施や教育活動の充実につながると考え、「2021教職員が実感できる多忙化防止計画」を策定し、先生の多忙化防止対策を進めます。

学校の先生はどれくらい忙しいの??



日本では、多くの先生が、1か月に80時間以上の残業をしていると言われていいます。これは、健康被害をもたらしたり、過労死の恐れまであるものです。心身ともに疲労がたまると、子ども一人一人に寄り添った指導や活動ができなくなるなど、結果的には教育現場に大きな支障を及ぼすことになってしまいます。

◆多忙化防止計画における目標◆

全ての先生の時間外在校等時間を45時間以内、1年間で360時間以内とします。

◆目標達成に向けた主な取組内容◆

時間管理の徹底や教職員の健康保持などのため、次のような基準を設定し、取り組みます。

			小学校	特別支援学校	中学校	高等学校
最終退勤時刻			19時		20時	
学校閉庁日	夏休み		5 日以上（休日を含む。）			
	冬休み		原則、平日 3 日以上（年末年始を除く。）			
部活動	活動時間	平日			2 時間程度	2.5時間程度
		休日			3 時間程度	3.5時間程度
	休養日	平日			週 1 日以上	
		休日			週1日以上	月 2 日程度

このほか、ノー残業デーの設定や、留守番電話の設置、健康保持のためのメンタルヘルス対策に加え、会議や研修の見直しと削減など、様々な取組を通して業務を削減し、先生の健康保持とワーク・ライフ・バランスの充実を目指します。

計画全体は「美の国あきたネット」に掲載していますので御覧ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archives/3239>



児童生徒が主体となって進めるいじめ防止の取組

学校教育全体を通じて、「いじめは、人間として絶対に許されないもの」という意識を児童生徒一人一人に徹底し、いじめを許さない学校づくり・学級づくりを進めるためには、児童会・生徒会活動等における共感的な人間関係づくりや自発性・自治力の育成が大切です。

県教育委員会では、いじめ問題に対応する際の参考資料として、県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校で、児童会・生徒会がいじめ問題に正面から向き合い、その根絶や未然防止に向けて全力で取り組んでいる実践例を収集し、取組事例集を作成しています。今年度の事例集の内容から、2校の取組を紹介します。



〈大仙市立四ツ屋小学校の取組〉

○児童同士が互いのがんばりを認め合うサプライズイベント

6年生の修学旅行が終わり、帰校した際、5年生がお帰り横断幕を作り、旅行の無事を祝った。それを受け、5年生の保呂羽山宿泊学習が終わり、帰校する際には、今度は6年生がサプライズ出迎えをし、2日間がんばった5年生をねぎらった。5年生と6年生がお互いのがんばりを認めて思いやる、あたたかいサプライズイベントであった。

○地域と連携したあいさつ運動

地域と児童会が連携したあいさつ運動を、月2回ほど行っている。公民館の方や学校評議員などの地域の方、保護者、児童会運営委員、5・6年児童が集まり、みんなであいさつを交わしており、学区の中学生が参加する日もある。地域一丸となってあいさつ運動に取り組むことにより、安心して生活できる環境づくりを進めている。



【玄関前であいさつを交わす様子】

〈鹿角市立尾去沢中学校の取組〉

○「withコロナ」でどのように人と関わるか考えよう集会

身近なところで新型コロナウイルス感染者が発生したとき、どのような行動をとるか、どんな気持ちになるかを考えた。縦割り班で話し合い、どんなときでも思いやりの気持ちをもって接することが大切だということを再確認できた。

○スマイルプロジェクトの実践

年間を通して各委員会が企画・実践する、いじめ防止活動である。縦割りで様々な班を作り、ゲーム等を通して交流を深め、互いの個性を認め合う場を設定している。委員会の特徴を生かし、失敗を恐れず様々な企画を立案し全校で楽しむ場となっている。



【スマイルプロジェクトの様子】



「美の国あきたネット」には、他の小・中学校、高等学校、特別支援学校の取組も掲載しています。ぜひ御覧ください。
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/19191>



教員のICT活用指導力の一層の向上を目指して オンライン授業スタートアップセミナーを開催しました



©2015秋田県んだッヂ

これからの情報社会を生きる児童生徒に必要な情報活用能力を育成するため、文部科学省は学校のICT環境の整備を進める「GIGAスクール構想」を示し、令和2年度にはその早期実現に向けた予算措置を行いました。これにより本県では、県内全ての小・中学校等に児童生徒1人1台端末が導入されることとなりました。県教育委員会では、学校におけるICTの活用促進と、学校の臨時休業等への対応に役立つよう、オンライン授業を行う際に必要となるICT機器の操作方法や活用の仕方などについて小・中学校等の教職員を対象とするセミナーを実施しました。

セミナーの様子

セミナーでは、一般社団法人秋田県情報産業協会に所属する企業から専門家を講師に招き、オンライン会議用のアプリケーションの活用方法について研修しました。

参加した教職員は、タブレットやWebカメラ等の機器の操作方法や、オンライン授業でできることについて説明を受けた後、タブレット等の画面越しに児童生徒と対面することを想定し、実際にWebカメラの前に立って体験してみました。授業を行うことを想定した体験については、教材・教具等を提示してみるなど、実際の指導場面をイメージして行ったことで、オンライン授業を進める上での留意点等に参加者自身が気づき、全体で確認することができました。

また、質疑応答の場面では、オンライン接続に関することや児童生徒への事前指導に関することなど、実際に学校で活用する際に配慮すべき具体的な事柄について質問が出されるなど、参加者の関心の高さがうかがわれました。



オンライン授業を行う際の留意点について説明を受けた後、実際に「Zoom」を活用してみました。児童生徒に活用させる際には、事前の説明や準備を計画的に行っておくことが必要だという声が聞かれました。



授業を想定し、ホワイトボード（黒板）に書いて説明する場面を体験しました。文字の大きさや配置、教員の立つ位置等について配慮が必要だということを実感している様子でした。



教材・教具を提示して説明する場面を体験しました。児童生徒の理解を促すための教材・教具の映し方に関する工夫について、参加者同士が意見交換する様子が見られました。

視覚障害への理解を深めるために

「点字ブロックは安全・安心の道しるべ」～点字ブロック啓発の取組～



秋田県立視覚支援学校

視覚支援学校では、幼稚部、小・中学部、高等部、高等部専攻科で3歳児から成人までの幼児児童生徒が学んでいます。また、見えな
い・見えにくい方への相談支援活動を行っています。

視覚障害のある方が抱える困難の一つに「移動」があります。中でも歩道や公共施設に敷かれている「点字ブロック」は、安心して目的地まで歩くことができる大事な道しるべです。本校では、点字ブロックを多くの方々に知ってもらうための活動を行っており、今年度は次のことに取り組みました。

■児童生徒による秋田駅構内でのアナウンス

10月10日の目の愛護デーを含む1週間、J R東日本秋田支社の協力のもと秋田駅構内にアナウンスが流れました。「点字ブロックの上に物を置かないでください」「危険を感じたときは声をかけてくださると嬉しいです」という全校幼児児童生徒の思いや願いを、代表4名の児童生徒が声のメッセンジャーとして録音しました。この活動は、新聞やラジオに取り上げていただき、県内外の方々の目や耳に届く良い機会となりました。

また、3月18日の「点字ブロックの日」にちなみ、秋田県内4駅（秋田、大館、大曲、羽後本荘）で構内放送されました。



【校舎全景】



【4名の声のメッセンジャー】

アナウンスはこちらのQRコードから聞くことができます。



■PTA活動として情報発信

保護者が点字ブロックの役割を説明する動画を作成しました。9名が揃いのスタッフベストを着て、本校ホームページで理解と協力を呼びかけています。



啓発動画はこちらのQRコードから見るができます。

【点字ブロックの役割を伝える保護者】

■「啓発用オリジナルポケットティッシュ」の贈呈

生徒会役員が「かがやきの丘」にある聴覚支援学校、秋田きらり支援学校、医療療育センターの児童生徒等や職員に、点字ブロックについて説明した啓発用オリジナルポケットティッシュを贈呈しました。

また、小・中学校、高等学校、大学等での「障害理解出前授業」の際にも配付し、関心をもっていただく機会としています。



【贈呈する生徒会役員】

【保護者デザインによる図柄】

QRコードから本校の活動を見ることができます。



今後も、関係機関の皆様と連携しながら、児童生徒・保護者・職員が力を合わせ、「点字ブロック」の啓発に努めていきます。

秋田県立美術館企画展

平野政吉コレクション 花鳥図を中心に

秋田市エリアなかいち内の県立美術館では、令和3年3月13日（土）から5月9日（日）まで、企画展「平野政吉コレクション 花鳥図を中心に」を開催します。

秋田市の資産家・平野政吉は、生涯をかけて美術品を蒐集しました。平野政吉コレクションは、藤田嗣治作品がよく知られていますが、ジャンルも時代也多岐にわたる作品群で構成されています。

このたびの展覧会では、平野政吉コレクションの中から草花や鳥を題材にした作品を中心に展示します。沈南蘋（しん・なんぴん）や宋紫石（そう・しせき）が描いた写実的で色彩豊かな花鳥図、静謐な空間に花や鳥を描いた秋田蘭画などをご紹介します。

画面のなかで咲く花のみずみずしさ、描かれた鳥たちの生き生きとした姿を、ぜひ美術館でお楽しみください。

藤氏憲承《小禽椿花図》
公益財団法人平野政吉美術財団蔵



会 期：令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

休 館 日：3月22日（月）～3月31日（水）

開館時間：10：00～18：00（入館は17：30まで）

会 場：秋田県立美術館 3F ギャラリー

観 覧 料：一般 310 (250) 円 学生 210 (170) 円 シニア 280 (250) 円 高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体割引、秋田市立千秋美術館との相互割引、「くるりん周遊パス」、「なかいち回遊割引チケット」を提示された時の割引料金

※シニアは70歳以上

※障害者手帳を持参の方と付添1名は無料

主 催：秋田県立美術館

【関連イベント】

学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和3年3月20日（土・祝）、4月17日（土）
各日ともに14:00～14:30

会 場：3F ギャラリー

定 員：20名（電話でお申し込みください）

参加料：観覧券または年間パスポートが必要です

【お問合せ】

秋田県立美術館

（指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団）

秋田市中通一丁目4-2

TEL 018-853-8686

FAX 018-836-0877

お知らせ

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開館スケジュールの変更やイベントを中止する場合があります。
詳細は各施設や担当課へお問い合わせください。

☆あきた文学資料館☆

TEL 018-884-7760

あきた文学資料館
新収蔵資料展

3月14日(日)～5月2日(日) 10:00～16:00

※毎週月曜日は休館日

観覧料：無料

令和2年度にあきた文学資料館に寄贈された自筆原稿や俳句雑誌『白日』『新雪』をはじめ、各地に保存されていた秋田県にゆかりのある貴重な文学資料を展示します。



俳句雑誌『白日』『新雪』の創刊号表紙

☆県立図書館☆

TEL 018-866-8400

「悪疫退散！～災いをはらい、福を呼ぶ～」
(県立博物館との連携展示)

4月3日(土)～5月25日(火) 9:30～17:00

※毎週水曜日は休館日

会場：県立図書館 2階特別展示室

観覧料：無料

様々な感染症に対して、昔の人々はどのように向き合ったのでしょうか。昔から地域に伝わる、まじないや民間信仰に関する資料を紹介します。

☆県立博物館☆

TEL 018-873-4121

企画展

「美の國の名残 博物館の審美眼」

4月29日(木)～6月27日(日) 9:30～16:30

※5月3日を除く月曜日と5月6日(木)は休館日

会場：県立博物館 2階企画展示室

観覧料：無料

博物館の収蔵資料を「美」という観点から問いなおします。かつて博物館にあった美術部門へのオマージュとして、美の国秋田に育まれた美意識を探ります。

☆埋蔵文化財センター☆

TEL 0187-69-3331

令和2年度
秋田県埋蔵文化財発掘調査速報展

3月6日(土)～7月11日(日) 9:00～16:00

会場：埋蔵文化財センター特別展示室

※3月20日(土)は休館日

同センター中央調査班

※土日祝日は休館日

観覧料：無料

令和2年度の埋蔵文化財センターの発掘調査により、県内の遺跡から出土した資料をわかりやすく紹介します。

☆近代美術館☆

TEL 0182-33-8855

特別展

「ときめく美人画展 培広庵コレクション」

4月24日(土)～6月20日(日) 9:30～17:00

観覧料：一般 1,000円 大学生以下無料

培広庵コレクションは、美人画の黄金期といわれる大正時代を含む明治から昭和までの移り変わりを網羅する日本有数の美人画コレクションです。

本展覧会ではその貴重なコレクションから、美人画の巨匠と謳われる上村松園、鍋木清方、伊東深水を初め、秋田県出身の日本画家・寺崎廣業らによる当館所蔵の美人画をあわせてご紹介します。多彩な美人画の世界を味わいながら、そこに込められてきた日本の美意識をご堪能ください。

秋田県特別支援学校文化祭作品紹介

第18回秋田県特別支援学校文化祭（「わくわく美術展」と「みんなの写真展」）が、11月13日（金）～16日（月）に秋田市にぎわい交流館AUを会場に開催されました。「わくわく美術展」絵画コンクール部門940点、「みんなの写真展」309点の応募作品の中から最優秀賞を受賞した作品を御紹介します。

子どもたちが自由な発想で伸びやかに表現した作品を御覧ください。

わくわく美術展 絵画コンクール部門 最優秀賞作品



「太陽と果物」

伊藤 結依（ゆり支援学校 高等部1年）

第27回全国特別支援学校文化祭に出展し、全国特別支援学校知的障害教育校長会長賞を受賞しました。



「先生の手と足」

佐藤 響（栗田支援学校 高等部2年）

みんなの写真展 最優秀賞作品



「交差点にいる厨二病」

瀬川 杜活（天王みどり学園 高等部1年）



「鏡の中の自分」

阿部 琢真（比内支援学校 高等部3年）

■「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は4,800部作成し、印刷経費は1部当たり19.79円です。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和3年3月19日「教育あきた」No.752
発行・秋田県教育委員会
編集・秋田県教育庁総務課
〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1
TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851
Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education>